

水路の生き物保護

栃木県小山市の倶楽部

【栃木・おやま】小山用

水保全協議会羽川エコ倶楽部（くらぶ）はこのほど、小山市羽川の水路で、水路の改修工事に先立ち、生き物の救出活動を行った。同倶楽部とメダカ里親の会の会員、小



救出した魚を仕分けする関係者

山用土地改良区の職員ら約30人が、メダカやフナ、コイなど約650匹を捕獲した。

農家の管理負担軽減のため、圃場（ほじょう）整備事業が進められ、水路が土からコンクリートに変わり、生き物が行き場を失っている。メダカは参加者の一部が自宅で飼育し、田んぼに放流する。その他は、隣接水路に放流した。

同倶楽部の福田洋一会長は「小山にはたくさん生き物がいるということに、改めて驚かされた。営農とのバランスを取りながら、自然を残していきたい」と力を込めた。